

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和7年7月24日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉文教常任委員長 外 山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第4回常任委員会

令和7年7月24日（木）10時から11時まで

(2) 第5回常任委員会協議会

令和7年7月24日（木）11時から11時30分まで

2 開催場所

委員会室2・3

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、伊勢委員、吉田委員

4 欠席委員

貞宗委員

5 委員外

西原議長

6 調査事件及び協議結果

(1) 地域住民の広域生活交通路線の確保について（福祉部及び保健生活部）

・・・調査継続

- ① 高齢者及び障がい者（児）バス・ハイヤー共通利用券、地域生活バス、通院等乗合ハイヤーの各地域の1日当たりの利用者数を確認し、また、制度設計時の目標数も確認した。

当初の目標値は会議の場で確認できなかったものもあったが、地域生活バスや通院等乗合ハイヤーは利用者が多いとは言えず、既に取り組んでいる部分も見られるが、まだ、制度改善の余地があるものとする。

さらなる改善に取り組んでいただきたい。

- ② 別海町の外出支援サービスは、高齢者や障がい者にとっては、負担軽減措置や免除制度もあり、よく考えられている。

しかし、通院等乗合ハイヤーについては、バス運行ルートから500m離れた区域に住んでいる人は対象外となるなど、個々の状況によってばらつきがあるので、今後検討が必要だと考える。

また、障がい者にとっては、サービスの通知があるなどにより、制度は理解されているようだが、70歳以上の高齢者にとっては、何が利用できるのか分かりづらいことから、効果的な周知方法を検討する必要がある、場合によっては、制度の分離を検討することも考えられる。

あるいは、全体を包括したサービスとすることで、より使い勝手の良い制度となるものとするので、分かりやすく使いやすい制度設計に向けて今後も検討を進めていただきたい。

- ③ ハイヤー会社に頼らないライドシェアの検討も積極的に進めていただきたい。